

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成  
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築  
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成  
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

1 実践テーマ	【 IV 】
2 実施対象者	京都市立葵小学校 5年1組・2組 66名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 総合的な学習の時間「あおい探究」 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	「あおい和み堂プロジェクト」 ・和みの時間の大切さに気付くと共に、和菓子のすばらしさを実感し表現する。 ・和菓子職人さんやモノづくりに携わる人々の思いに気付けるようにする。 ・友だちと協力して課題に向かい、自分の思いを工夫して表現する。 ・和みの時間を大切にし、自分たちの生活に活かそうとする態度を育てる。
5 取組内容	・和菓子を作ってみよう (10H) ・和菓子の奥深さに触れよう (10H) ・『和み』の良さと和菓子の魅力を伝えるための方法を考えよう (15H) ・より和めて、和菓子の良さを伝えられるお茶会にするための考えを練り上げよう (15H) ・あおい和み堂プロジェクトお茶会を開こう (10H)
6 主な成果	・「和菓子」は、目にしたり、食べたりしたことがある児童は多い。一方で、和菓子が苦手な子や和菓子に馴染みがない児童も多かったが、和菓子の良さや奥深さを認識することで、和菓子を身近なものとして日常的に取り入れようとする態度が醸成できた。 ・「和菓子」は歴史も深く、「味」「見た目の美しさ」「職人の技術」など、大変魅力の感じられる、探究していきたくなるテーマであった。 ・伝統を活かしたゆとりのある生活の工夫を考えることは、2020年の東京オリンピックや国際社会化の視点からも、自らの国や地域に誇りをもつことや、アイデンティティの確立、世界に通ずる日本の「和

	み」文化を世界に発信していくことなど、今後の日本を生きる子どもたちに必要なテーマとなった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の職人の方の匠の技を目の前で見せ、また、体験させることで、本物との出会い、体験を重視し、子どもたちに驚きや感動を与える内発的動機に働きかける取組とした。</li> <li>・海外からの留学生を招待することで、海外から見た日本の良さや課題を認識できるグローバルな視点が持てるようにした。</li> </ul>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都の老舗和菓子店の協力で、商品開発を行う機会をいただいたが、今まで商品開発をするといった経験が学校に無く、結果、単元計画が2年間と言うロングランになってしまった。</li> <li>・事前準備や日程調整、留学生とのやり取り等、担任の仕事が煩雑であった。</li> </ul>
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先述の通り、今年度は、商品開発にこぎつけるまでのマーケティングを行った。</li> </ul> <p>この調査資料を基に、来年度は、オリンピック・パラリンピックを視野に企業と和菓子の共同開発を実施し商品化することで、京都の魅力を再確認すると共に、海外に発信していくことで京都の魅力を伝えていけるようにする。</p>